

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

 池田町

VOL. 13

令和2年5月1日発行

【主な内容】

議案審議 2～3

町長施政方針・主な事業 4

町政に問う 一般質問 3人が登壇 5～7

委員会質疑応答

総務厚生常任委員会 8～9

文教経済常任委員会 10～11



みんなの
力で美しい
池田



町内一斉に行われた「河川クリーン作戦」の様子

▼ 条例その他

議案第17号	池田町あそびハウスの設置及び管理に関する条例の制定について
議案第18号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第19号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第20号	池田町課の設置条例の一部改正について
議案第21号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
議案第22号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
議案第23号	池田町農山村総合整備事業分担金徴収条例の一部改正について
議案第24号	池田町国民健康保険条例の一部改正について
議案第25号	池田町国民健康保険診療所設置条例の一部改正について
議案第26号	公の施設の指定管理者の指定について
議案第27号	池田町過疎地域自立促進計画の変更について
議案第28号	辺地に係る総合整備計画の策定について

【審議結果】 全議案採択
（議案第9号・10号は宇野邦弘議員が反対、その他25件の議案は全員賛成）

1月臨時会

第1回 臨時会（令和2年1月21日開会）

臨時会で提案された議案

議案第1号	物品購入契約の締結について（役場職員等業務用パソコン更新事業） …入札結果に基づき、契約金額983万8,400円（うち消費税相当額89万4,400円）にて、三谷コンピューター（株）と契約締結することを決議
-------	---

【審議結果】 全員賛成で採択



令和2年度 一般会計予算 32億4,710万円

3月定例会が3月10日から18日の9日間の会期にて開催され、議会人事案件、令和元年度の一般会計補正予算と、6つの特別会計補正予算、令和2年度の一般会計予算と、7つの特別会計予算、また12の条例及びその他の議案、合計27議案が提出され、全議案可決されました。

令和2年度一般会計予算は、前年度比3億1,650万円（＋10.8％）の増額となっています。主な要因としては、デジタル防災無線整備工事に3億6,080万円、清水谷地区圃場整備事業に6,000万円などです。

定例会で提案された議案

▼ 池田町議会人事案件

追加日程第1	副議長辞職の件 …3月10日付けで、宇野邦弘議員より副議長の辞職願いが提出され、許可することに決定
追加日程第2	副議長の選挙 …議長指名推選により、宇野一正議員が副議長となる

▼ 令和元年度 補正予算

議案第2号	池田町一般会計補正予算（第5号） …各種事業の実績見込みにより1億4,130万8千円を減額し、総額を30億4,411万3千円に
議案第3号	池田町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） …葬祭費10万円を増額し、総額を3億6,714万2千円に
議案第4号	池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第4号） …往診車購入費、191万1千円の繰越承認
議案第5号	池田町簡易水道特別会計補正予算（第4号） …施設管理費の財源2,600万円を、一般財源から簡易水道事業債への財源更正
議案第6号	池田町下水道事業特別会計補正予算（第3号） …下水道長寿命化工事費、754万円の繰越承認
議案第7号	池田町介護保険特別会計補正予算（第4号） …保険給付費実績により1,000万円を減額し、総額4億2,849万7千円に
議案第8号	池田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） …広域連合納付額実績により101万8千円を減額し、総額4,448万2千円に

▼ 令和2年度 当初予算

議案第9号	池田町一般会計予算 総額32億4,710万円	議案第13号	池田町下水道事業特別会計予算 総額1億9,070万円
議案第10号	池田町国民健康保険特別会計予算 総額3億2,890万円	議案第14号	池田町農業集落排水事業特別会計予算 総額5,530万円
議案第11号	池田町国民健康保険診療施設特別会計予算 総額1億7,600万円	議案第15号	池田町介護保険特別会計予算 総額4億2,770万円
議案第12号	池田町簡易水道特別会計予算 総額2億4,160万円	議案第16号	池田町後期高齢者医療特別会計予算 総額4,430万円

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



宇野 邦弘 議員

高校卒業まで医療費無料化に (県の助成枠拡大に伴い、多くの市町が実施に)

県は医療費無料化助成を中学卒業までに拡大する。これを契機に各市町は、高校卒業まで無料化を広げる動きになっているのに、池田町では来年度予算でもやろうとしていない。

また、窓口負担をゼロにしている自治体も広がっているが、どれだけあるのか。池田町でも完全無料化に踏み切るべきでないか。

大野市では育児支援を切れ目なくつづけるために、また人口減少対策としても、高校生に加えて、19歳、20歳の県内の大学・専門学校生にまで対象に医療費無料化に踏み切ることになっている。

保健福祉課長

現在、南越前・おおい・高浜の3町が高校卒業まで無料化。今後の予定は、県では公表してない。全額の医療費の無料化は、勝山・あわら・坂井・永平寺・南越前・美浜・高浜・おおい・若狭の9市町が実施している。

医療費の窓口負担をなくすことについて検討はしたが、適正な医療機関への受診や一定の負担も必要と考えている。高校卒業までの拡大は考えてない。

再質問

嶺北では福井と池田以外の市町で、新たに高校卒業

副町長

森づくり課の業務は、木望の森100年プロジェクトの推進、林業政策の総合企画、林道などの基盤整備、木質バイオマスなどの推進

新設される「木望の森づくり課」は林業の再生、林業労働者の確保と育成なども課の大事な柱として位置付けるべき。

森林組合から従来の補助事業に加えて、獣の樹皮剥ぎ防止対策のテープやネット巻き、管理放棄山林の調査と整備事業、間伐・搬出等担い手確保と人材育成事業などへの補助創設の要望が出されているが考えは、森林環境譲与税の活用策について民間林業者の意見も求めているように。

木望の森づくり課の新設について 林業再生のための施策も大事な柱に

までという事を決めようとしている。子育て支援で他

の自治体に後れを取らないように。

学校一斉休校問題への対応について

専門家の意見も踏まえ、いままでの突然の「全国一律休校」要請は、その後の文科省の「学校の設置者の判断を尊重する」と事実上訂正されたが、関係者に変な混乱を与えた。子どもたちの学習権の保障や保護者の仕事と生活などの点からみても、冷静で科学的な判断が求められている。児童館の対応と受け入れ状況は、

教育委員会事務局課長代理 学習支援にケーブルテレビ



池田町児童館

町長施政方針

令和2年度
政策テーマ

「明日への可能性を拓く」

「木望の森100年プロジェクト」の始動について

「100年の後も生きている山づくり、活かされる山づくり、人が集う山づくり」を合い言葉に、杉偏重の山林から、針葉樹・広葉樹の混交林の整備を進める。「木活事業」として、木材を最大限に活かし、木工芸、木のエネルギー化、木材の材質基準の調査研究を図り、木材利用の推進を図る。

「木育事業」として山林資源や木を活かして、学習の場や遊びに活かすために、関係機関との連携を図り、山の持つ魅力の推進を図る。

新年度より専門部署として、「木望の森づくり課」を設置し、事業の推進に努める。

農村環境と観光事業の総合産業化の推進

池田の農村文化や環境、また資源循環型農業や環境向上活動を活かし、「ひと・もの・こと」の連携力、協働体制を通じ、観光事業に加え SDGs(持続可能な開発目標)をはじめ、脱炭素社会など世界課題にも貢献する町づくりを目指す。

観光事業の拡充促進施策として、冠荘の改築も含めた志津原ファミリーリゾートの再開発基本計画、ツリーピクニックアドベンチャー施設の拡張計画を進める。

「仮称：環境向上アクション会議」を設置し、現在の食・ターン、エコポイント、循環型農業の検証、脱プラスチック、食品ロス、さらには農村環境・水田風景のあり方などの協議について深めていく。

主 なる 事業

(千円未満切捨て)

○防災力の向上を図るための、防災行政無線デジタル化の工事費等で	3億6,609万円
○集落自治防災力の向上を図るための、防災資機材整備支援として	80万円
○第2期池田町地方創生総合戦略の策定経費として	160万円
○清水谷地区の圃場整備事業費として	6,000万円
○有害鳥獣駆除経費等として	1,140万円
○「木望の森100年プロジェクト」推進における森林整備計画策定等に	600万円
○森林所有境界の確認を行うための、測量機(3Dウォーカー)の購入、研修等の経費として	809万円
○木を利用した商品開発、木質エネルギーの研究を行う(仮称)ウッドラボの運営経費として	1,115万円
○新幹線開業、冠山トンネル開通を見込んだ観光事業の推進事業費として	2,540万円
○小中学校においての、「協同的学び」「まち人授業」「プロジェクト型学習」等の学校教育環境をサポートする経費として	201万円
○田楽能舞のユネスコへの無形文化遺産登録へ向けた取組経費として	39万円
○水道管の老朽化、耐震化等の整備に	2億4,160万円

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、
自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



丸石 純一 議員

新保ファミリースキー場の今後の運営について

今後の運営について

近年異常とも言える天候が続く、夏場の暑さだけではなく冬の天候についても予測ができない状況である。雁ヶ原スキー場を経営する会社が破産を申請する事態となり、また今庄365スキー場の指定管理者が今年度で撤退を表明するなど、嶺北のスキー事情に大きな変化を与え、その結果池田町も冬場のスキー場を経営する上で大きな岐路にたっている。

道路の整備においても、今後5年間の内に100年に1度とも言える千載一遇の、観光環境の変化が訪れる。これを好機として捉え、観光増加や、地域活性化につなげるために、スキー場を



新保ファミリースキー場

夏場期間の利用について

冬場だけの利用ではなく、既存の施設を使った、最小の経費で最大の効果を上げるための、さまざまな検討ができるのではないかと考える。

スキー場の夏場期間の利用についてできるのか、できないのか、その考え方について伺う。

キャンプセンターとの連携について

今年度旧三小を活用した農村de合宿キャンプセンターの冬季間の宿泊者については少ないと認識している。

これはスキー場の営業日と大きく連動している部分もあるかと思うが、キャンプ



ンプセンターの冬季宿泊者数の実績とスキー場との連携についてどのような計画・実施をしているか伺う。

農村政策課長

スキー場の運営実績については、平成29年度は58日間の営業約5,600人の来客数。平成30年度及び令和元年度については、積雪が少なくスキー場の営業は行っていない。

今後の運営について

令和2年度は今後リスクに配慮した指定管理者制度の導入も必要ではないかと考えている。

併せて、運営の在り方等について地元団体等とも協議を行う予定。

夏場期間の利用について

スキー場の夏場利用については、観光事業者や地元意向ならびに提案があれば、貸出し等も考える。

キャンプセンターとの連携について

冬季宿泊については新型

ポリ袋から紙袋について

池田町では十数年前から河川のペットボトル、ポリ袋等のゴミの回収をしております。最近ではたいへん少なくなり他の手本となっており、町民の意識の高さをかんじている。

しかし、まだいたる所でポリ袋が使用され、大きな社会問題になっている。

7月から始まるレジ袋有料化は大いに期待されるものだ。代替品として考えら

庁舎のカーシェアについて

池田町の公用車の運用は20数台あると見受けられる。この車両の動きを見ると、使用の多い車両で月20日ぐらい、少ない車両は月一回の稼働で、その内容は一日あたりの走行距離が10km未満の車両もある。こうした現状を考えると、庁舎内でのカーシェアリングを取り入れたらどうか？新年度の予算の中に数台の車両入れ替えがあるが、新しい車

輛はEV、PHV、HV、ディーゼルなど環境にやさしい車両に入れ替える事を提案する。

総務財政課長

現在、各課に一台〜四台程度の公用車を導入しているが、一時的に公用車がなくなるときはシェアして利用している。公用車の所有のあり方については、利便性や経済性などを踏まえ、今後も慎重に対応していきたい。環境負荷が

ふるさと納税について

一般質問



宇野 一正 議員

ふるさと納税がはじまって12年が過ぎ、ここ数年池田町への寄付額が減少している。原因は色々あるだろうが、町にとっては自由度の高い寄付金で、町づくり、集落の活性化事業にとって重要な財源だ。

制度改正で加熱ぎみだった返礼品の競争に歯止めがかかり、池田町にとってはチャンスではないだろうか？

池田町を純粋に応援したいという気持ちのこもった寄付金であるゆえに返礼品も「お気持ちだけ」の品物でなく、池田町に来て、美味しいそばの食べ歩きとか、ジップラインのチケットとか、考える所はあると思う。内容重

視の返礼品を考えてみてはどうか。

総務財政課長

ふるさと納税の活用方法として、ちょっとした幸せ実現事業を実施しており、この活動が平成30年度ふるさと納税自治連合表彰において優秀事例として表彰された。これは単なる行政支援ではなく、池田町で活躍される方を応援する仕組みや、自分達で使い道をきめていく池田町独自の活動を認めていただいた結果である。また、全国ふるさと魅力体感プロジェクトでは寄付の返礼として、様々な体験プログラムを用意実施しており、池田町と交流を深めたいという方々への対応を検討することは必要と考える。

池田町の公用車の運用は20数台あると見受けられる。この車両の動きを見ると、使用の多い車両で月20日ぐらい、少ない車両は月一回の稼働で、その内容は一日あたりの走行距離が10km未満の車両もある。こうした現状を考えると、庁舎内でのカーシェアリングを取り入れたらどうか？新年度の予算の中に数台の車両入れ替えがあるが、新しい車



池田町の公用車(プラグインハイブリッド車)

軽減される車の購入は重要なので、車輛購入時には考慮していきたい。

コロナウイルス感染症の影響もあり、4名に留まっている。今後はスキー場と連携した、合宿の提案、誘致やクライミング、雪遊びのプログラム冬の室内遊びや屋内での体験プログラム等を含めることで、多様な魅力を発信し営業を行う。

コロナウイルスについての再質問

コロナウイルスの今後の対応をきくと池田町が一体となってこの感染症に立ち向かっていくことが池田の力に繋がり、結果、防止に繋がると考える。

その礎となるのが正しい情報であると考え。

色んなデマもあるが、正しい情報に基づいてみんなが気持ちを合わせて動くためには、その情報を発信できる行政機関が重要な役割となる。

正しい情報とすばやい情報の発信については心がけて頂きたいと思うのと同時に、情報弱者となる外国の方や聴覚視覚の障害のある方にも正確な情報が行き届くようにご注意をお願いしておきたい。

も高い評価を得ている。SDGの取組みの方向としても使い捨てプラごみゼロを目指すべきだと考える。今後プラスチックごみを減らす取り組みには、レジ袋を紙製のものにかえる、マイバックを使用する、使い捨てストローを無くす、会議ではマイボトルを使用する等、町民、事業者、行政が一体となり、知恵をしながら、使い捨てプラスチックごみゼロを目指す取り組みを進めていく事を考えている。



総務厚生 常任委員会（令和2年3月11日）

質 疑 応 答

委員長
飯田拓見
和田義則
松井靖明

副委員長
宇野一正
宇野邦弘
丸石純一

プレミアム商品券について

丸石議員 プレミアム付き商品券について、対象者556名中申請数198名と申請率が35%と低くなった原因は何か。PR不足はなかったのか。

住民税務課長 県の平均でも44%。対象の非課税世帯らは個別通知やホームページ、商工会を通じて各商店への周知チラシも配布してきた。2万円で2万5千円の商品券を出していたが、自己持ち出し負担が原因だと推測する。

往診用車購入について

和田議員 往診用公用車購入額が繰越となっているが、もっと早く発注できなかったのか。

保健福祉課長 発注は行っていたが、注文車種のエンジンに不具合が見つかり、メーカーによる改善に日数を要するため納車の遅れが生じた。

いので運行は難しい。

副町長 マイバスがなくても安価で乗車でき、少ない財政負担で町民の移動の権利を

国保の出産補助、基金の活用などについて

丸石議員 国保加入者への出産補助金の増額はできないのか。

保健福祉課長 社会保険とも同額の42万円が増額は考えていないが、町の施策としても医療費助成などを進めている。

宇野邦弘議員 税金を納めていない子どもさんにまで負担を強いる国保の均等割りはなくすべきでないか。他の自治体と比べて多い国保基金の活用など必要ではないか。

保健福祉課長 県下同一の国保の保険料への移行も考えられており、現在の1人当たり平均7万円が10万円と増える試算もあり、その時には基金も活用し急激な増額に対応していくべきと考える。

介護関係予算減額について

宇野邦弘議員 介護予防・生活支援事業が昨年度比で200万円減額されているが、利用者者が減ったためなのか。「脳

軽自動車税の増額要因、サポカーの補助金について

丸石議員 軽自動車税の税額が増えているがその理由は。サポカーの補助金について昨年実績の37台に対し、5台になっているのはなぜか。

住民税務課長 軽自動車の税収は平成30年度1022万円、令和元年1045万円、2年度予算では1087万円。税

福鉄への補助金について

宇野邦弘議員 福鉄バスへの補助金が地域交通対策費として1178万円予算計上されている。過去の実績に比べて増えているのはなぜか。もし、福鉄の池田線もなくなったらマ

守るといふ点で公共交通の維持が最も望ましい。この為にも乗って残すことが大事と考えている。

木望の森づくり課について

松井議員 新設される木望の森づくり課の体制はどう考えているのか。

副町長 林業行政全般を担える任期付職員などの採用なども含めて体制をつくる。（林野庁からの出向者1名を含め、4名体制で4月から新設されている）

議会放送の発信について

丸石議員 議会放送を個人が動画配信できるのか。インターネットを主たる情報源としている人も増えているので、情報発信の選択肢を広げていくことが求められているのでは。

べる体操」の効果はどうなのか。

保健福祉課長 当初予算では支援体制に不備がないように多めにしているため。利用者減という面も大きい。「脳べる体操」の効果についてはまだ検証されていない。

町の借地について

宇野一正議員 町が借りている土地の借地料などの現状は。

総務財政課長 町の借地は180筆で面積は11万4800㎡。借地料は合計で年800万円。

衛星電話について

宇野一正議員 町の所有する衛星電話は固定式か携帯式か。

総務財政課長 携帯式であり普段は役場に置き、緊急時には現場に携帯する。県土木は車載用を装備している。

たことや池田町と越前市で走行距離による負担増のため。

ルートの見直しにより乗車率は向上しており、今後の軽減も見込めるのではないかと考える。

福鉄が撤退した場合、現在の利用者の多さや運転手の確保などマイバスでは対応できないと考える。今後設置場所のマップ整備は有効と考える。

【その他】

AED装置の増設を

松井議員 AEDをマイバスや公用車などにも搭載するなど増やせないか。設置場所の周知も必要でないか。

副町長 公用車など移動性のあるものより、台数の少ない地域への増設がいい



役場入口にあるAED(自動体外式除細動器)

防災メールについて

松井議員 防災メールが区長に届いていないとの話もあるが、稼働しているのか。発信の徹底を。

総務財政課長 防災メール（異常気象警報など）は登録者に配信している。区長会でも登録用紙を渡している。まだ登録されていない方にはぜひ、連絡してほしい。今からでも対応する。

副町長 公開されているものであり個人が配信できないことはない。ただし著作権の兼ね合いもあり、載せる場合

は役場に相談していただきたい。また議会日程等は議会での判断により、町のホームページで対応できる。



文教経済 常任委員会（令和2年3月13日）

質 疑 応 答

委員長
佐野和彦
岩崎昭一
宇野一正

副委員長
松井靖明
宇野邦弘
丸石純一

志津原再開発事業について

基本計画の詳細は

宇野邦弘委員 志津原再開発基本計画策定事業（220万円）の詳細は

農村政策課長 当初計画ではマレットゴルフ場周辺の再開発計画を計画していたが、計画範囲を土合皿尾・志津原全体に広げた。冠荘の改築もしくは新築も含め慎重に計画を進め、いかに観光客を立ち止まらせ、町内を周遊させるかの仕掛けが必要と考えた。なお、この計画は、令和2年度中の基本計画策定を予定し、令和3年度は設計費を予定している。

飲食の場所がないのでは

宇野一正委員 TPAでの飲食（軽食）の場所がない。今後の計画で、団体客を受け入れできるように計画するのか。

農村政策課長 志津原再開発計画の中で、検討する。

TPA区域の水田活用は

岩崎議員 TPAの区域で、購入した水田部分の活用計画はどうなっているか。

農村政策課長 水田部分の活用方法は、複数の意見があり今回の計画には、含まれていない。

令和2年度予算について

森林境界確認の測量機は

丸石議員 3Dウォーカーの活用として、地域内で山林境界の確定などにもお願いできるのか。

町土整備課長 可能と思います。

有害鳥獣予算の増減は

宇野一正委員 有害鳥獣の予算は、昨年度と増額しているのか、減額しているのか。

農村政策課長 増額している。

農村政策課長 増額している。イノシシの場合は豚コレラ撲滅に向け、駆除の補助単価（県補助）が上がっている。従来の単価に加え、成獣7,000円 幼獣1,000円の上乗せがされているため。

足羽川漁協との連携は

佐野議員 水産費の放流事業補助で、放流する魚の数（量）について、足羽川漁業組合と連携、確認はしているのか。釣れる数が少ないとの意見を聞いたことがある。

農村政策課長 放流場所の協議はしていない。

宇野邦弘議員 意見

大型事業により、河川への流入土砂等の影響があるのではないかとの意見もある。今後は、河床堆積物の調査も必

岩崎議員 意見

水田を購入したこともあり、早急に計画を示してほしい。

民間の参入は

宇野一正委員 民間参入の計画はあるのか。

農村政策課長 現段階では計画していない。TPAの中ではマルシェ、志津原再開発の中では道の駅的な施設も想定しているの、民間参入も考えられる。

あそびハウスについて

収支計画は

丸石議員 あそびハウス・おもちゃハウスの収支計画はあるのか。

農村政策課長 今後の収支として、収入2,384万円支出2,310万円の見込み。

同伴者は必要か

宇野邦弘委員 小学生高学年も保護者同伴が必要か。

農村政策課長 当然スタッフは配置するが、保護者の方にも見守っていただきたい。

両施設を利用する場合は

松井議員 兄弟が、「おもちゃハウス」と「あそびハウス」に別れて遊ぶ場合は、保護者同伴が必要か。複数人の子ど



河川の雑木除去作業

要ではないか。

食ラボの稼働は

丸石議員 食ラボの稼働実績はどれ位であったのか。

農村政策課長 令和元年度の稼働率は90%以上であった。

暖冬の除雪費用は

宇野一正委員 除雪作業の支払いについて、今年のようには除雪作業がない年でも、一定金額を業者に支払うのか。

町土整備課長 除雪作業については、出勤実績に応じ支払っているため、一定金額を支払うことはない。

も達を、代表して1名の親が保護者として入場することは良いのか。

農村政策課長 その通りである。ただし、あそびハウスでは、未就学のお子様も遊べるスペースは整備してある。友達達の親が代表して保護者として入場することは可能。子ども達だけの入場はお断りすることになる。

最大の利用人数は

宇野一正委員 最大収容人数は何人か。

農村政策課長 あそびハウスは最大80名、おもちゃハウスは最大60名である。（双方とも保護者込みの人数）

なお、混雑時においては、利用時間を2時間に制限することを考えている。

遠足等の利用は

佐野議員 遠足受け入れについてはどうか。

農村政策課長 平日は、遠足を受け入れることとしている。遠足の場合、引率の先生方を保護者として考えている。

収支が赤字の場合は

丸石議員 収支計画どおりの収入が得られなかった場合の、赤字補てん等はどうか考えているのか。

田楽能舞のユネスコ登録

丸石議員 水海田楽能舞のユネスコ登録に向けた取り組みは。

教育委員会課長代理

令和元年度、無形文化遺産フォーラムに出向き、関係者との対談の結果、水海田楽能舞単体での登録は不可能と思われるが、田楽という芸能のグループ登録であれば可能性があるとの意見を受け、来年度よりアドバイザーや大学の先生方も入っていただき、実行委員会を立ち上げ、成果を打ち出したいと考えている。

その他の質疑

給水工事の進捗は

佐野議員 中地区と下地区をつなぐ、給水管工事は始まっているのか。

町土整備課長

冬期間は除雪作業の支障となるため、土木事務所の許可が下りず、現在は工事に着手出来ない状況である。

現在は、仮設管にて下地区へ給水している。

古民家の下水接続

岩崎議員 古民家を購入した場合、上下水道がなくとも困りの方がおられる。ま

農村政策課長 町からの赤字補てんは、行わない。

副町長

指定管理者制度においてのリスク分担表に基づき、大規模災害などの原因で売り上げが減少した場合、行政が補てんすることとしている。

ケガの責任は

宇野一正委員 利用した方のケガなどの責任は、施設にあるのか保護者にあるのか。

副町長

基本的には、施設の不備によるものは、施設管理者にある。ただし、子どもたちの監督義務は親（保護者）にある、このため、保護者同伴制度は必要と考え、ルールを設けている。

飲食や休憩スペースは

松井議員 「まちの駅」だけでは飲食のスペースが足りないと思うが、中に設けているのか。また、保護者の方の休憩スペースはあるのか。

農村政策課長

飲食の場所には設けていない。遠足などの場合は、体験ルームでお弁当を食べていただく場所として利用できる。保護者の方が休める場所は、専用ではないが設けている。

た、新たに接続をしようとすると自己負担が大きい。町の支援事業があるのか教えてほしい。

町土整備課長

新たに下水を接続しようとする場合、本管から距離がある場合は、旧下池田地区以外でも、合併浄化槽の支援は出来る。水道管については、個人負担となる。

休校時の給食費は

宇野邦弘委員 新型コロナウイルス対策による休校時の給食費はどうしているのか。

教育委員会課長代理

3月分の給食費は徴収しない。



R2年度入学式

議 会 視 察

3月18日（水）あそびハウス 子どもと森、ウッド LABO の現地視察を実施しました。

あそびハウス 子どもと森



木の面白さを感じてもらう体験ルーム



複数のジャングルジムで遊べるプレイルーム



木のボルトで簡単に組み立てができる おもちゃ



ウッド LABO



ウッドLABO外観



町産の規格材をストックするストックヤード



一般の方が気軽に利用できるDIYルーム



現在、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、オープンが未定となっていますが、早く子ども達のはしゃぎ回る姿が見たいものです。

編集後記



皆さまからのご意見を
お寄せください。

（宇野一正）

議会広報特別委員会
委員長 宇野 邦弘
副委員長 丸石 純一
委員 佐野 和彦
委員 宇野 一正
委員 松井 靖明
発行責任者 議長 和田 義則

表紙の写真

3月29日（日）に町内一斉に行われた「河川クリーン作戦」の様子です。「各集落」、「まちおこし21」、「区長会」の多くの協力をもって、今年で21回目の活動を迎え、町の環境美化につながっています。